

新型コロナウイルス感染症の世界的流行のもとの2020年度新学期開始にあたって
第1報

すべての学生の皆さんへ

2020年3月25日
埼玉県立大学学長 萱場一則

感染者のクラスターを発生させないために、下記の標準予防策などを、皆さん一人一人が責任を持って実施してください。

標準予防策（手指洗浄、うがい、マスク着用など） 免疫力の保持、向上（十分な食事、休養、睡眠など） 混雑を避ける（コンサートやライブハウス、催し物などの人混みを避ける、など）
--

大学から多くの情報が発信されるので、学生は大学のホームページや学内メールを注意深くチェックしてください。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行のなかで、埼玉県をはじめとする首都圏でも感染が急速に拡大しています。このような事態をうけて、本学も卒業式や入学式を断腸の思いで中止したことは皆さんも周知と思います。

この事態に臨んで、埼玉県立大学として特に熟慮すべきことがあります。

本学は保健医療福祉系大学であり、その教育と研究は、県内をはじめとする多くの実習施設の患者や利用者の皆様の献身的協力によりなり立っています。この人たちの多くは高齢で、何らかの基礎疾患を有する、すなわち新型コロナウイルス感染症で最も重症化しやすい集団です。

また、皆さんが感染者あるいはその濃厚接触者となった場合には、法律にもとづく隔離、あるいは自宅待機などを求められ、学習が継続できなくなります。

新型コロナウイルス感染が本学の中で広がる、あるいは本学経由で実習施設へ伝播させることは何としても防がなければなりません。

さらにこのウイルスは極めて困った特性を有しています。

新入生をはじめ多くの学生と教職員は若く、健康であり、感染しても無症状あるいは軽症である可能性が高いです。しかしながら、そのような無症状者もウイルスを排出し、他人への感染源となる可能性が指摘されています。皆さんが、自分は健康だ、大丈夫だ、と思っても、意図せずに感染を広げてしまう危険性は否定できません。

最初に示した対策は、学外での実習を行う学年、学科、専攻の学生みならず、全学生、全教職員が実施する必要があります。ウイルスは宿主、つまり皆さんの専門分野や学年など、全く関係無く感染し、いかなる学生の感染も大学および関連施設での集団感染の発生につながるからです。

大学は環境整備として、教室の換気の励行、教室内での座席配置への配慮、手洗い場の増設、洗剤等の整備を行います。

それにともない、授業の形態や場所、時間の変更が生じます。授業についても大学から多くの情報が発信されるので、大学のホームページや学内メールを注意深くチェックしてください。

このたびの感染症の大流行への対応は容易ではありませんが、皆さんが学習を続けられるように、そして、本学に少しでもかかわるすべての人の命を守るために、全学生教職員が一丸となって立ち向かいましょう。